

V. 新霊園の必要性

霊園は、祖先の永遠の住居として、私達はここに礼拝して心の故郷となる場所であり、精神的な支えとなる社会生活上なくてはならない施設である。

また、地方公共団体の基礎的な行政サービスの一環として今後も市民の需要に応えるために、長期的・安定的な供給が必要である。

しかし、現在安定的に供給されている「つつじが丘霊園」は、過去の供給実績でみると平成13年度には供給不可能となる状態にあり、また、その拡張整備も困難を極める状況にある。

その他の市街地墓地も現在の安定的供給量を将来に渡り満足するものではなく、またその拡張整備も困難な状況であることから、「つつじが丘霊園」に後続する新しい霊園計画が必要と考える。